

I 建築家ル=コルビュジエのユネスコ世界遺産に登録された作品について述べた次の文章を読んで、問1～問4に答えなさい。解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて〔解答用紙 A (マークシート)〕の所定の解答欄にマークしなさい。

近代建築に多大な影響を与えたル=コルビュジエは、1887年に A スイス で生まれ、のちにパリを拠点に活躍し、1965年にフランスで亡くなった。

2016年、ル=コルビュジエの17の作品が「ル=コルビュジエの建築作品——近代建築運動への顕著な貢献——」としてユネスコ世界遺産に登録された。これらの作品は、B アルゼンチン、C インド、スイス、ドイツ、日本、フランス、ベルギーという複数の国に存在している。ル=コルビュジエが牽引した、近代社会の求めに応じた新しい建築技術の創造を目指した運動が、20世紀に世界規模で展開されたのである。

その17の作品の1つが日本の国立西洋美術館である。同美術館は、D 松方幸次郎 がヨーロッパで収集した作品の受け入れと展示のための美術館として、ル=コルビュジエが建築設計を担い、1959年に開館した。

問1 下線部 A に関連して、次の文章を読んで、以下の①～③に答えなさい。

スイスは、ヨーロッパにおける宗教改革の中心の1つであった。ツヴィングリはウィーンなどの大学で学び、聖職者となった。1518年に (a) の大聖堂教会の説教者に着任することになり、そこを拠点に宗教改革運動を主導した。ツヴィングリは、ドイツで活動するルターへの賛同を示すものの、聖餐の解釈をめぐる対立し、 α 1529年に両者はドイツで会談したものの決裂した。ツヴィングリは、スイスにおける新教諸州と旧教諸州との衝突のなかで1531年に戦死した。

その後、スイスでは (b) で宗教改革が進んだ。主導したのは、フランス出身のカルヴァンであった。カルヴァンは一度は (b) から追放されたが、1541年に戻り、 β 教会改革 をすすめたのみならず、その思想に基づいた政治改革も実施した。スイスでは、カルヴァンと (a) でツヴィングリの後継者となったプリンガーによって聖餐に関する見解が統一された。また、カルヴァンは1559年にのちの (b) 大学となる神学校を設立している。

① 文章中の空欄 (a)、(b) に入る地名を、〔解答用紙 B〕の所定の欄に記入しなさい。

② 下線部 α に関連して、その後もドイツでは、ツヴィングリ派や同じくスイスで生まれたカルヴァン派は広まらなかった。その背景の1つには16世紀半ばのドイツにおいて、宗教に関わる、ある政治的な決着がみられたことがある。その決着の内容について、〔解答用紙 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

③ 下線部 β に関連して、カルヴァンが導入した教会組織の特徴について、それまでの教会組織との制度的な相違に触れつつ、〔解答用紙 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問2 下線部 B にある作品はクルチェット邸である。これは、1948年にブエノスアイレス近郊の計画都市ラ=プラタに建築された。この都市は、19世紀後半における後背地パンパの急速な開発を背景に、商工業の中心として発展した。このパンパの開発と19世紀後半における世界経済・貿易の変化との関係について、アルゼンチンの主要輸出品に触れつつ、〔解答用紙 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問3 下線部 C に関連して、次の文章を読んで、以下の①～③に答えなさい。

インドにある作品は、チャンディーガルのキャピトル・コンプレクスであり、高等裁判所や州庁舎などが集まるチャンディーガル都市計画全体の中心である。チャンディーガルは、α インドとパキスタンの独立後に都市計画に基づいて建設された。その計画はアメリカの建築家によって進められていたものの、1950年にル=コルビュジエが引きついだのである。

インドには、これ以外にも、β キャリコ織物博物館を運営するサラバイ家の邸宅などのル=コルビュジエ作品が残されている。

- ① 下線部 α に関連して、次の資料 a～c は、独立前後の時期におけるジンナーまたはネルーのスピーチの一部を抜粋し、日本語に訳したものである（必要に応じて表現を改めた）。資料 a～c のスピーチが行われた時期を年代の古い順に並べ替え、それを左から並べたものとして適当なものを、下の 1～6 の中から選びなさい。

解答は解答欄 に、その番号をマークしなさい。

1. a b c 2. a c b 3. b a c 4. b c a 5. c a b 6. c b a

a

インドと世界がかの悲劇を知ってから 2 週間が経ちました。このことは今後ずっとインドの恥となるでしょう。(中略) 彼は、何世代にもわたって最も偉大なヒンドゥーでありインド人です。彼はヒンドゥーであり、インド人であることに誇りをもっていました。(中略) しかし、彼が信仰心があつく、(中略) 民族の父と呼ばれるようになったとしても、狭隘な宗教心や民族の紐帯が彼の精神を閉じこめることはありませんでした。彼は偉大な国際派であり、人間の結びつきを信じ、あらゆる宗教の融和と人道の必要性を強調しました。(中略) 歴史上、彼の死ほど弔意を集めた人の死があったでしょうか。

b

これは、最も記念すべき稀有な機会の 1 つであります。本日、インドの人々は完全に権限が委譲される前夜にあり、2 つの独立したドミニオン(*)であるパキスタンとヒンドウスタン(**)が (中略) 誕生します。この国王陛下の政府の決断は、偉大な理想が現実のものとなったことの証となりましょう。その理想は、イギリス帝国を構成するあらゆる民族と国家を、他国の支配からは自由な自治領および独立国家にするという明確な目的をもつイギリス連邦の形成という形で表明されたものです。

(*)ドミニオン=イギリス連邦内自治領のこと。

(**)ヒンドウスタン=インドのこと。

c

(前略) ヒンドゥーとムスリムが同じ国民になっていくというのは夢です。1つのインド民族という誤った認識は限界をこえ、あなた方が抱える問題のほとんどの原因になっています。(中略) ムスリムのインドはヒンドゥー多数派政府の成立につながるようないかなる憲法も受け入れません。(中略) ムスリムはいかなる民族の定義においても1つの民族なのです。そして、かれらは自らの故郷、領土、国家をもたなければなりません。(中略) 友よ、私はあなた方にはっきりと決意してもらいたいです。そして、策を練り、あなた方の民を組織し、あなた方の組織を強化し、インド中のムスリムの結束をかためてもらいたいです。

(資料出所はいずれも省略する。)

- ② 下線部 α に関連して、イギリスから独立した国家であるパキスタンはその後分裂した。パキスタンが分裂した経緯とその帰結について、〔解答用紙 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。
- ③ 下線部 β に関連して、次の資料は、1722年にイギリスで制定された条例の前文の一部を日本語に訳したものである(必要に応じて表現を改めた)。このような条例が出されるにいたった背景について、織物としてのキャリコ(キャラコ)の特徴および資料中の(ア)に入る最も適当な産業名を明示しつつ、〔解答用紙 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

本条例は、本王国の(ア)産業・絹織物産業を保護し、奨励するため、また、貧困層をより効果的に雇用するためのものである。そのために、1722年12月25日以降、捺染されたものであれ、(中略) 染色されたものであれ、キャリコを衣類、家財、調度等に使用したり、着用したりすることを禁ずる。

(資料出所は省略する。)

問4 下線部 D の人物について述べた次の文章を読んで、以下の①、②に答えなさい。

松方幸次郎は1866年1月に鹿児島で生まれた。アメリカで法律を学び、ヨーロッパでも学んだのち、川崎造船所初代社長になった。松方は、日本に西洋美術を広めるため、ヨーロッパで α 絵画や彫刻などの美術品の収集を積極的に行った。

そのコレクションは、散逸したり、火事で消失したものを含めると10,000点におよぶ膨大なものであった。松方自身の美術館設立計画は頓挫したが、第二次世界大戦後、 β 敵国人財産としてフランス政府に接収されていた375点がフランス政府から寄贈という形で日本に返却された。それらが国立西洋美術館に所蔵されることになったのである。松方は同美術館の誕生を見ることはなく、1950年に没した。なお、松方のコレクションにはパリで購入した約8,000点の浮世絵が含まれ、それらは東京国立博物館に所蔵されている。

① 下線部αに関連して、次のa～cの作品が発表された年代の古い順に左から並べたものとして適当なものを、下の1～6の中から選びなさい。

解答は解答欄 に、その番号をマークしなさい。

1. a b c 2. a c b 3. b a c 4. b c a 5. c a b 6. c b a

a



b



c



(資料出所はいずれも省略する。)

② 下線部βに関連して、次の資料a～cは20世紀半ばの日仏関係に関連する外交文書の抜粋である(必要に応じて表現を改めた)。資料a～cが交わされた時期または発令された時期を、下の年表中の空欄1～7の中からそれぞれ選びなさい。

aの解答は解答欄 に、 bの解答は解答欄 に、 cの解答は解答欄 に、その番号をマークしなさい。(重複使用不可)

a

一、帝国大本営はここに勅命により且つ勅命に基づく一切の日本国軍隊の連合国最高司令官に対する降伏の結果として日本国国内および国外にある一切の指揮官に対しその指揮下にある日本国軍隊（中略）をして敵対行為を直ちに終止しその武器を措き（中略）

（イ）支那（満洲を除く）、台湾および北緯十六度以北の仏領印度支那にある日本国の先任指揮官ならびに一切の陸上、海上、航空および補助部隊は（中略）降伏すべし

（中略）

（ハ）（中略）「ビルマ」、「タイ」国、北緯十六度以南の仏領印度支那（中略）にある日本国の先任指揮官ならびに一切の陸上、海上、航空および補助部隊は（中略）降伏すべし

b

一、「フランス」国政府は日本国に対し左記措置を取るの権限を与ふ

イ、必要数の日本国軍隊、艦艇および航空隊の（中略）印度支那への派遣

ロ、「シエムレアプ」、「プノンペン」（中略）、「サイゴン」（中略）の八個所の航空基地としての使用並びに「サイゴン」および「カムラン」湾の海軍基地としての使用、日本軍は前記各地において所要の施設を為すべし

c

（前略）本使は仏蘭西国政府は極東の経済的および政治的分野における日本国の優越的利益を認むる旨、閣下に通報するの光榮を有し候（中略）日本国において仏蘭西国に要求せられたる軍事上の特殊の便宜供与に付ては、仏蘭西国は、右便宜供与は（中略）、臨時的にして該紛争解決せられたるときは消滅すべきものなること、ならびに右は支那に境する印度支那の州に限り適用せらるるものなることを了承いたし候（後略）

〔資料出所〕『日本外交年表並主要文書』下巻

1

フランスがドイツに宣戦布告した。

2

パリがドイツ軍に占領された。

3

日ソ中立条約が締結された。

4

アメリカが日本に対する石油の輸出を全面的に禁止した。

5

連合国軍によるノルマンディー上陸作戦が開始された。

6

バオ=ダイがフランス連合内のベトナム国元首となった。

7

II 近世から近代にかけてのスペインに関して述べた次の文章を読んで、問5～問7に答えなさい。解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて〔解答用紙A（マークシート）〕の所定の解答欄にマークしなさい。

近世のスペインは世界規模の帝国を作り上げたことで知られるが、その国家としての原型はA 中世のイベリア半島に遡る。その後16世紀に成立したハプスブルク朝スペインの時代は、主にその文化・芸術面での充実から黄金世紀とも形容される。また、広大なアメリカ植民地からは大量の銀がスペイン本国に流れこんだ。しかし、運営・統治という面からみると、スペイン王室は度重なる戦争に伴う膨大な戦費に苦しみ、破産宣告を繰り返しながら衰退していった。その後、B スペイン継承戦争を経て成立したブルボン朝スペインは、中央集権化を志向する改革を通じて帝国の再活性化を目指した。しかし、アメリカ植民地は人口においてスペイン本国よりも大きくなり、自由貿易への希求や、スペイン本国の政情不安にも刺激されて、C 独立へと向かっていった。

問5 下線部Aに関連して、次のa～cの出来事を年代の古い順に左から並べたものとして適当なものを、下の1～6の中から選びなさい。

解答は、解答欄 に、その番号をマークしなさい。

- a. アラゴン王国とカスティリヤ王国が婚姻を通じて統合した。
- b. ナスル朝が滅亡した。
- c. バルトロメウ＝ディアスが喜望峰に到達した。

1. a b c 2. a c b 3. b a c 4. b c a 5. c a b 6. c b a

問6 下線部Bに関連して、次の資料aはフランスがイギリスと、資料bはスペインがイギリスと、それぞれ結んだ講和条約の一部を日本語に訳したものである（必要に応じて表現を改めた）。これらを読んで、以下の①～③に答えなさい。

a

第12条（前略）今後、クリストファー島はイギリスの臣民が単独で所有する。ノヴァ＝スコシアあるいはアカディア全土も同様である。（中略）フランスの臣民は今後、ノヴァ＝スコシア沿岸の海、湾、その他の場所におけるいかなる漁業からも排除される（後略）。

第13条（ア）については、この時点から、権利上、完全にイギリスに属するものとする。（中略）加えて、フランス臣民が上述の（ア）のいかなる場所に砦を築くことも違法となる（後略）。

b

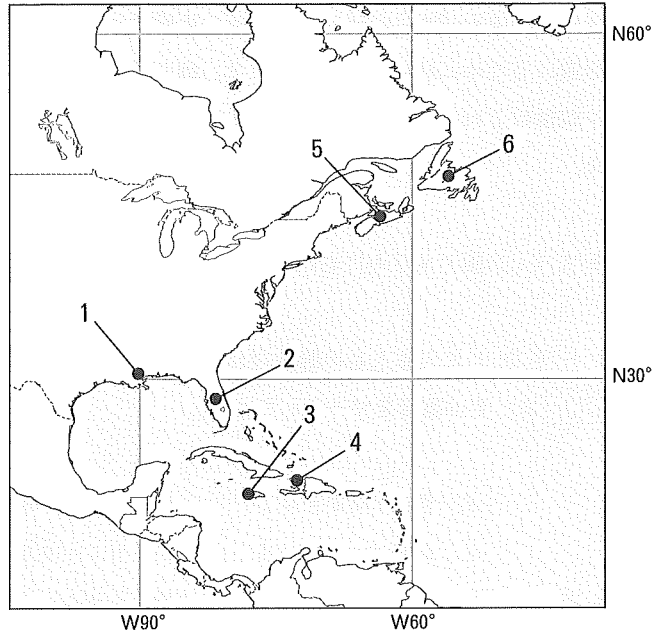
第12条 a スペイン国王はイギリス女王（中略）に対し、スペイン領アメリカの各地に黒人奴隷を供給する権限、通称アシエントを授与する。期間は（中略）30年間とし、またその条件はかつてフランス人が享受し、また享受し得たであろうものと同じとする（後略）。

（資料出所はいずれも省略する。）

① 資料 a, b の講和条約は同じ場所で締結された。その地名を、〔解答用紙 B〕 の所定の欄に記入しなさい。

② 資料 a 中の (ア) の位置として最も適当なものを、次の地図中の 1～6 から選びなさい。

解答は解答欄 に、その番号をマークしなさい。



備考：国境線は現在のもの。

③ 資料 b 中の波線部 a に関連して、スペイン領アメリカでは、先住民人口が激減しており、労働力としての奴隷が必要とされていた。スペインが奴隷を直接調達するのではなく、アシエントの授与という形でこれを得る必要があったのはなぜか、〔解答用紙 B〕 の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問7 下線部Cに関連して、次の文章を読んで、以下の①～④に答えなさい。

スペイン領アメリカの独立運動は、 α クリオーリョと呼ばれる人々が牽引した。すなわちメキシコでは（ア）が、南米大陸の北部では（イ）が、南部では（ウ）らがそれぞれ運動を指導し、独立を達成していった。一方、キューバでも独立運動が展開されたが、これらの地域からは遅れた上、 β アメリカ合衆国の介入も受けた。

スペインからの独立後も、中南米諸国は諸外国からの強い影響を受けることになる。特に冷戦期のアメリカ合衆国は、中南米の左傾化を避けるために様々な介入を行った。例えばチリでは（エ）が選挙により社会主義政権を樹立したが、ニクソン政権はこれを打倒しようとし、その後チリ軍部の（オ）がクーデタを起こして長期にわたる軍事政権をしいた。

- ① 下線部 α という呼称がスペイン領アメリカにおいて指した内容を、〔解答用紙B〕の所定の欄に記入しなさい。
- ② 文章中の空欄（ア）～（ウ）に入る人名の組み合わせとして適当なものを、次の1～6の中から選びなさい。
解答は解答欄

(8)

 に、その番号をマークしなさい。

- | | | |
|----------------|-------------|-------------|
| 1. ア. イダルゴ | イ. サン=マルティン | ウ. シモン=ボリバル |
| 2. ア. イダルゴ | イ. シモン=ボリバル | ウ. サン=マルティン |
| 3. ア. サン=マルティン | イ. イダルゴ | ウ. シモン=ボリバル |
| 4. ア. サン=マルティン | イ. シモン=ボリバル | ウ. イダルゴ |
| 5. ア. シモン=ボリバル | イ. イダルゴ | ウ. サン=マルティン |
| 6. ア. シモン=ボリバル | イ. サン=マルティン | ウ. イダルゴ |

- ③ 下線部 β に関連して、19世紀末から展開したキューバの独立運動にアメリカ合衆国はどのように介入し、それがキューバにどのような影響を及ぼしたか、〔解答用紙B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。
- ④ 文章中の空欄（エ）、（オ）に入る最も適当な人名を、〔解答用紙B〕の所定の欄に記入しなさい。

Ⅲ アジアにおける共産主義について述べた次の文章を読んで、以下の問8～問14に答えなさい。解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて番号で〔解答用紙 A (マークシート)〕の所定の解答欄にマークしなさい。

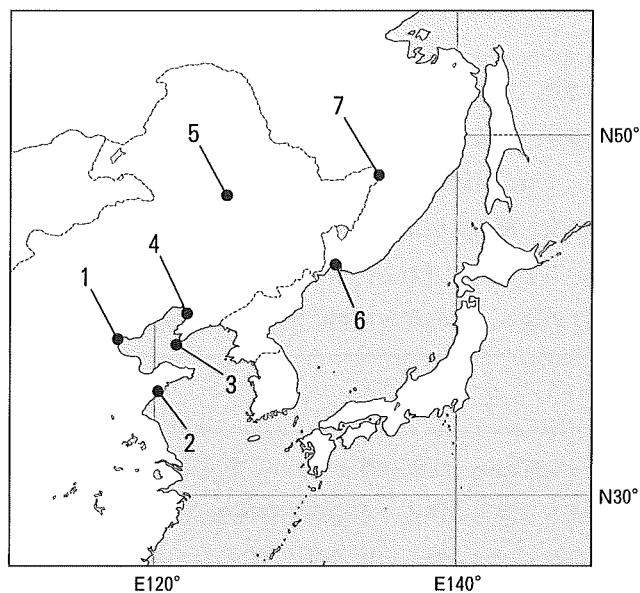
19世紀以降、欧米諸国のアジア進出が本格化すると、A 西洋の近代的な技術や思想がアジアにもたらされた。共産主義もその1つである。とりわけ、19世紀後半から20世紀前半にかけて、アジア諸地域でB 政治体制の変動や改革の動きが起こるなか、ロシア革命を契機としてソヴィエト政権が成立したことを背景に、アジア各地にC 共産主義を掲げる政治勢力が出現した。第二次世界大戦後は、これらのアジアの共産主義勢力がD アジアにおける冷戦を構成する要素となり、共産主義勢力の盟主であるE ソ連からの影響を受けつつ、ときにはF 国内外の勢力との衝突・紛争を引き起こした。その後、冷戦は終結するが、G 著しい経済成長を遂げるアジアにおいて、共産主義勢力は依然として存在しつづけている。

問8 下線部 A に関連して、次の文章を読んで、以下の①、②に答えなさい。

欧米諸国によるアジアへの蒸気船や鉄道などの近代的輸送技術の導入は、アジア内の交通網の発展をうながした。例えば、 α 清朝領域内の東北地方を通るロシアが開発を進めた鉄道は、のちにロシアが租借した（ア）までつながった。

① 文章中の（ア）に入る地名の位置として最も適当なものを、次の地図中の1～7の中から選びなさい。

解答は解答欄 に、その番号をマークしなさい。



備考：国境線は現在のもの。

② 下線部 α の鉄道の名称を示した上で、この鉄道と南満州鉄道株式会社の設立との関係について、〔解答用紙 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問9 下線部 B に関連して、清朝においては様々な改革の試みがなされた。清朝が義和団事件（戦争）後に進めた政治体制の改革の内容について、〔解答用紙 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問10 下線部 C に関連して、モンゴルではモンゴル人民党（後にモンゴル人民革命党と改称）が創設された。その創設に参加し、のちのモンゴル人民共和国の成立に関わり、1939年から1952年にかけて同国の首相となった人物の名前を、〔解答用紙 B〕の所定の欄に記入しなさい。

問11 下線部 D に関連して、次の資料 a～c は、アジアの政治的指導者による著作の日本語訳からの抜粋である（必要に応じて表現を改めた）。それぞれの著作の著者としても最も適当な人物を、下の 1～9の中から選びなさい。

a の解答は解答欄 に、 b の解答は解答欄 に、 c の解答は解答欄 に、その番号をマークしなさい。（重複使用不可）

a

アメリカ帝国主義はあなたがたの敵ですが、わたしたちの敵でもあり、全世界人民の敵でもあります。アメリカ帝国主義がわたしたちに干渉するのは、あなたがたに干渉するよりもいくらか困難です。アメリカはわたしたちのところから遠く離れている、これが一つの要因です。とはいえ、アメリカ帝国主義の手はひじょうに遠くまで伸びており、わが国の台湾に伸び、日本、南朝鮮、南ベトナム、フィリピンなどにも伸びています。また、イギリス、フランス、イタリア、アイスランド、西ドイツに駐兵しており、北部アフリカと中近東にも軍事基地があります。その手は全世界に伸びています。アメリカ帝国主義は世界的な帝国主義で、全世界人民の反面教師なのです。全世界人民は団結して、たがいに助けあい、それぞれの地でアメリカ帝国主義の手を断ち切らなくてはなりません。

b

唐代の有名な中国の詩人、杜甫は「人生七十古来稀なり」と書いている。今年79歳の私はこれらの「まれな」人々の中に数えられるが、以前にくらべて、私の健康はいくらか弱まったにもかかわらず、いまだに私の心は輝いている。（中略）いかなる困難辛苦が前途に横たわろうと、わが人民が全面的勝利をかちとることはたしかである。アメリカ帝国主義者は引揚げなければならないだろう。わが祖国は再統一されるだろう。北と南のわが同胞は同じ屋根の下で再統一されるだろう。わが国は英雄的な闘争を通じ、二つの大帝国主義——フランスとアメリカ——を打ち破り、民族解放運動に価値ある貢献をした一小民族たる大きな名誉を持つだろう。

c

農工業の生産は飛躍的に前進し、都市も農村もすべて繁栄した。地方自治は強固な基礎を築き、国民教育は日に日に強化された。消極的な弊害の除去から積極的な建設まで、すべては三民主義を実践するためであり、中華文化を復興するためであった。（中略）いま苦難にみまわれ、肅清を受け、抹殺されている大陸の同胞は、まさに抗戦勝利のために戦った人々であり、光復^(*)した台湾の兄弟、親族である。彼らとわれわれには同じ血が流れており、栄辱は一体である。よって、われわれは一つの目標のもとに一致団結、手をたずさえて邁進し、台湾建設の成果を拡大し、さらに進んで、大陸光復という神聖な使命を早期に達成し、その歴史的意義を発展させ輝かしいものにし、国家と民族の光明ある前途を開拓しなければならない。

(*) 光復＝失地を回復すること。

(資料出所はいずれも省略する。)

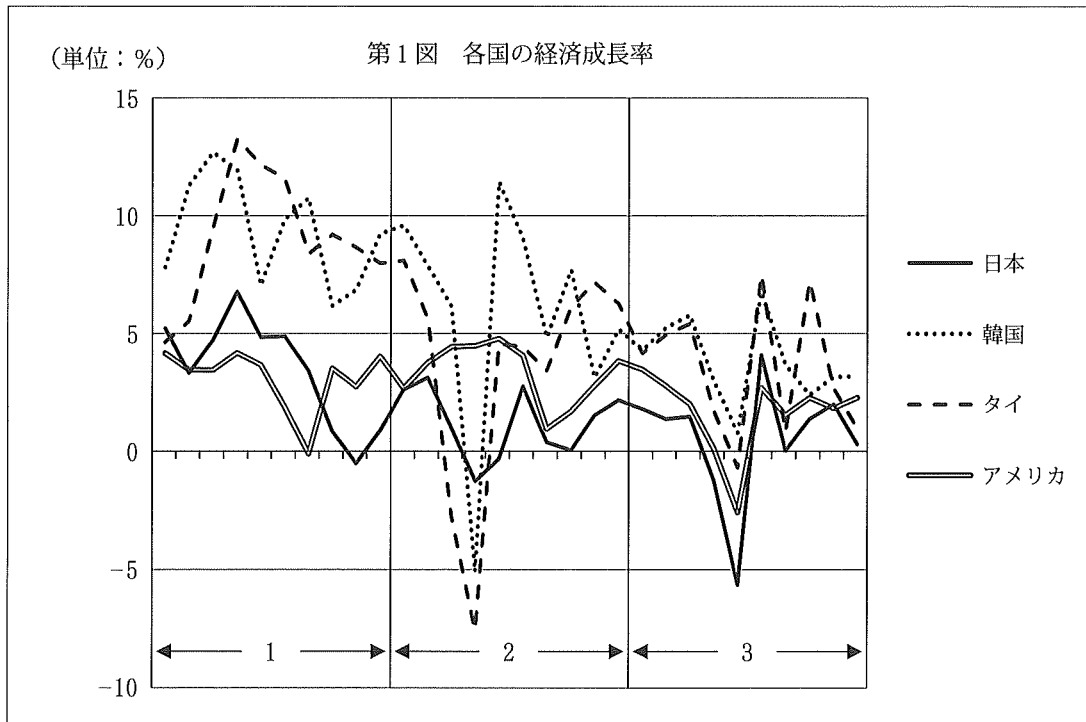
1. 李承晩
2. 金日成
3. ゴ=ディン=ジエム
4. 蔣介石
5. 朴正熙
6. ホー=チ=ミン
7. 毛沢東
8. リー=クアンユー
9. 李登輝

問12 下線部 E に関連して、冷戦下において、中華人民共和国とソ連との関係はどのようなものであったか。中華人民共和国成立当初から1960年代末までの関係の推移について、ソ連とアメリカとの関係に触れつつ、〔解答用紙 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問13 下線部 F に関連して、ベトナム戦争後のカンボジアをめぐる、中国とベトナムは対立し、その対立はのちに戦争に発展した。その経緯について、カンボジアで政権を握った共産主義勢力とその政策に触れつつ、〔解答用紙 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問14 下線部Gに関連して、次の第1図は、20世紀後半から21世紀前半にかけてのある30年間におけるアジア3カ国とアメリカの経済成長率の動向をグラフ化したものである。図の横軸の1～3は、10年ごとの区分である。次のa～dの出来事が起きた時期を、第1図の1～3の中からそれぞれ選びなさい。ただし、1の時期より前の場合は0を、3の時期より後ろの場合は4を選びなさい。

aの解答は解答欄 (13) に、 bの解答は解答欄 (14) に、 cの解答は解答欄 (15) に、
dの解答は解答欄 (16) に、
その番号をマークしなさい。(重複使用不可)



資料出所：International Monetary Fund, *World Economic Outlook Database* より作成。

- a. アメリカでバラク=オバマが大統領に就任した。
- b. インドネシアでスハルト政権が倒れた。
- c. 日中平和友好条約が締結された。
- d. マルタでアメリカ大統領とソ連共産党書記長が会談した。